

内科

グルテン摂取と体調の悪化について

パンやパスタなど小麦を含んだ食品を食べると、腹痛や繰り返す下痢などの他、疲れやすさ、集中力の低下、皮膚の発疹、長い経過の中での体重減少、貧血などの症状が現れる人がいます。小麦粉をこねて生成されるグルテンという物質に対して異常な免疫が生じると、自分自身の小腸粘膜に障害を起こしてしまう、自己免疫

疾患であるセリアック病、もしくはこれに近い病態の可能性があります。小麦アレルギーの場合は血中のIgEという免疫グロブリンの検査が可能ですが、現在の保険診療の範囲ではグルテンに対する自己免疫の反応や過敏性の検査はありません。そのため、2〜3週間小麦製品を除去することで諸症状が改善するならば、グルテン

摂取が体調悪化の原因である可能性を強く疑います。小腸内視鏡で粘膜組織を生検して、絨毛の消失などの特徴像を認めれば、グルテン制限を徹底する必要があります。



福本 学

内科

新百合山手福本内科



☎044-955-8877
麻生区万福寺6-7-2
メディカルモリノビル2F
<http://www.fukumotonaika.jp/>